

新春特別企画

平成後の成長戦略を描こう！

新時代の、

経営戦略

セミナー

2019年経営戦略中心テーマは、

流通大変革！デジタル変革！人財戦略！

開催日

2019年

1月16日 水

13:00-18:00

@学士会館

いよいよ、平成から次の時代へと日本は歩みだそうとしています。この30年を振り返ることももちろん大事ですが、もっと大事なことは、『未来』です。おそろく多くの方々は、2020年を一つの区切りとして戦略を描いていたことと思います。

しかし、肝心の東京五輪の後、つまり平成後の戦略については、まだ明確な意思決定ができていないということも事実ではないでしょうか。

確かに、想像を超えるスピードで時代は動いています。決断すべきことが何なのか、決断の前提となるものは何なのか、なかなか見えづらい状況であることは間違いないと思います。

しかし、決断をこれ以上先延ばしすることはできません。今こそ、過去に捕らわれず、未来志向で、何に時間と手間とコストをかけるか、その中心軸は何かということを共に考え、確かな未来に向けて一歩を踏み出しましょう。今回は前職時代の仲間、今は独立して活躍している一流の経営コンサルタントをゲスト講師に迎えました。

是非、新年の始まりにこれからのワクワクする未来について共に考える時間を過ごしましょう。

佐藤 芳直

遂に実現！

TOP経営コンサルタント大集結



株式会社
イニロジット
代表取締役

**角井
亮一氏**

株式会社
S-Yワークス
代表取締役

佐藤 芳直

株式会社
iOffice
代表取締役

**五十棲
剛史氏**

今こそ2020のその先を明確に描く時

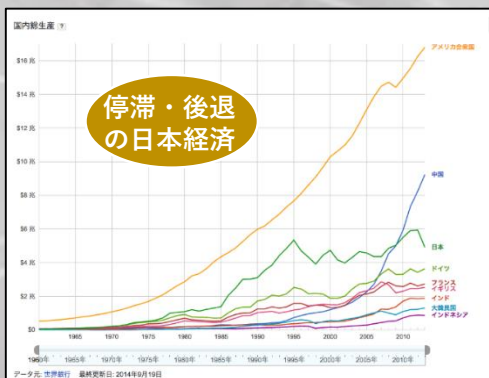
東京五輪後までの思考から、どれだけ飛躍できるかが勝負です

①

現状延長線上に、もう道はない

①様々なものの“再定義”が必須になる

時代のスピードは、もはや想像を超えるものとなっています。ただ確かに言えることは、今までの考え方を変えていかなければならないということです。GDPの国別比較を觀ても、日本は特異な動きを見せています。ジャパンアズナンバーワンの時代の考え方も、バブル後の考え方も、もう通用しません。店舗やスタッフ、社員、それぞれの役割の再定義が今求められています。



②世界は日本を觀ている

右の図は時価総額ランキングの比較です。左は1992年、右は2016年です。1992年には10社ほど日本の企業がランキングにいましたが、今は1社も25位までに入っていない。経済の縮小フェーズに入った日本を、いずれ同じ道を辿る世界各国が注目しています。

1992/12/31			2016/12/30		
順位	会社名	時価総額 (億ドル)	順位	会社名	時価総額 (億ドル)
1	エクシードビル	759	1	アップル	6176
2	ウォルマート・ストアーズ	736	2	アルファベット(グーグル)	5386
3	GE	730	3	マイクロソフト	4832
4	NTT	713	4	バーンシャー・ハザウェイ	4016
5	アルトリア・グループ	693	5	エクシードビル	3743
6	AT&T	680	6	アマゾン・ドット・コム	3563
7	コカコーラ	549	7	フェイスブック	3324
8	パナソニック	545	8	ジョンソン・エンド・ジョンソン	3134
9	三菱銀行	534	9	JPモルガン・チェース	3098
10	メルク	499	10	GE	2795
11	日本興業銀行	495	11	ウェルズ・ファーゴ	2768
12	住友銀行	455	12	デント	2612
13	トヨタ自動車	441	13	アット・エス・アンド・ティ	2319
14	ロイヤル・ダッチ・シェル	436	14	ロイヤル・ダッチ・シェル	2315
15	富士通	417	15	Pfizer	2250
16	第一勧業銀行	417	16	ネスレ	2235
17	三和銀行	379	17	中国工商银行	2234
18	BTグループ	375	18	バンク・オブ・アメリカ	2233
19	Pfizer	364	19	シェンロン	2222
20	グラクソ・スミスクライン	361	20	アリババ	2191
21	プリンス・エドワード・グループ	350	21	ペライティ・コミュニケーションズ	2176
22	ジョンソン・エンド・ジョンソン	331	22	中国移動(チャイナモバイル)	2171
23	ペプシコ	329	23	アンハイザー・ブッシュ	2141
24	GTE Corp	322	24	ウォルマート・ストアーズ	2124
25	さくら銀行	318	25	サムスン電子	2099

↑時価総額ランキング比較
※データ元: ダイヤモンドオンライン

←国別GDP推移 ※データ元: 世界銀行

②

時代の変化から目を離すな

①ディスラプター

amazon／アリババから目を離すな

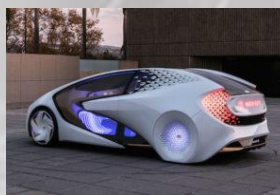
amazonやアリババの脅威について無知でいることは、どの業種においても得策ではありません。小売・流通という枠を超えて、あらゆる業種、生活に影響を与える世界TOP企業の戦略をしっかりと把握しましょう。

②人口減少、地方消滅の流れは止まらない

少子高齢化、過疎化といった言葉はもう20年以上前から使われ続けている言葉ですが、これからは、地方消滅という言葉も使われることでしょう。人口動態、地方と中心部の関係性に関しても目が離せません。

③人生100年時代、生き方革命の時代

今の7歳児の予測平均寿命は107歳。つまりあと100年は生きるだろうと言われています。且つ、働かなくても生きていける時代の到来も声高に叫ばれており、人々の人生観が大きく変わっていく時代を迎えます。



■2020年以降のキーワード

- ・オンラインとオフラインのシームレス・無人化
- ・キャッシュレス・ベーシックインカム
- ・自動運転・人生100年時代・地方消滅
- ・生き方革命・生き方改革・デジタル化 …etc.

新時代への3つの『備え』

本セミナーで重点的にお伝えする取り組みは以下の3つです！

備え

①

流通大変革に備えよ！

ディスラプターの戦略は単純明快！

①低価格追求 ②豊富な品揃え ③迅速なデリバリー

ディスラプターと呼ばれるIT企業の戦略は非常にシンプルで、『より安く、より豊富なものを、より速くお手元に』です。その実現のために、あらゆる既成概念を打ち壊して猛スピードでPDCAを回転させています。日本ではまだ「規制」や「既得権益」に守られている部分がありますが、それらが取り払われた瞬間、ユーザー支持率が高い企業へのシフトが急速に加速することは間違いありません。対策は今この瞬間から始めましょう。

備え

②

加速するデジタル化に備えよ！

ディスラプターへの対抗手段＝デジタルトランスフォーメーション！
デジタル化の遅れは、企業成長の鈍化に直結します！

現在は第四次産業改革の真っ只中にあります。“IoT”という言葉は既に一般化していますが、あらゆるモノがインターネットにつながり、デジタルによって社会構造、生活構造、そして会社そのものが大変革していくことを、**デジタルトランスフォーメーション（デジタル変革）**といいます。今、中小企業を含め、日本の全企業が真剣になって取り組むべきことは、自社そのものを**デジタル変革**していくことです。

備え

③

人財枯渇時代に備えよ！

中小企業の求人倍率は9.91倍という現実、定着率は悪化の一途…
今こそ、採用、育成を含む、人財化戦略を再構築！

将来的には全人口の10%しか働くことができない、という予測があるようにマクロには人手余りの時代が来ることはほぼ間違いないでしょう。しかし、人手は余っても自ら考え行動する人財は枯渇していくという予見も、もう一方ではあります。考えるからこそ人間である、今の時代は考えることなく、決断までも誘導されていることに気づきにくい時代です。そんな時代の中で如何にして人財を育み、組織を活性化させていくかという人財化戦略を明確に描く必要があります。

👉 日本を代表する経営コンサルタントが講師陣です！

第1講座：まず、これからの未来について知る！

『amazonに負けないために今すべきこと』

株式会社イー・ロジット
代表取締役

角井 亮一氏

1968年10月25日大阪生まれ、奈良育ち。現在、東京秋葉原に在住。
上智大学経済学部経済学科で、ダイレクトマーケティング学会初代会長の
田中利見先生のゼミに所属し、3年で単位取得終了し、渡米。ゴールド
ゲート大学からマーケティング専攻でMBA取得。帰国後、船井総合研
究所に入社し、小売業へのコンサルティングを行い、1996年にはネット通販
参入セミナーを開催した。その後、光輝物流に入社し、物流コンサルテ
ィングを実施した。2000年2月14日、株式会社イー・ロジット設立、代表取
締役に就任。書籍は、日米中韓台で、26冊出版しており、最新刊「すごい
物流戦略」は、経営者必読書。



第2講座：デジタル時代の企業変革の手法を学ぶ!!

『デジタルトランスフォーメーションを加速せよ』

株式会社iOffice
代表取締役

五十棲 剛史氏

大手百貨店、コンサルティング会社を経て、1994年船井総合研究所入社。
入社以来クライアントの業績アップ技術には長けており、「行列のできる
コンサルタント」として、船井総研全コンサルタントの中で、11年連続コン
サルタント実績NO.1など不滅の記録を数々樹立。その後、船井総研ホールディ
ングスの事業開発取締役として、アドテク等の新規事業を手掛け全て成功に導い
ている。2018年3月24日退任後、「世界に通用するスタートアップ企業をつ
くる専門に支援をしたい」という思いで、iOfficeをスタート。
IPOを狙う、スタートアップベンチャー企業の数社の取締役、上場企業4社の
イノベーション支援ほかスタートアップベンチャーの複数社の顧問を手がける。



第3講座：人財化への道筋を描く

『今こそ、人財化戦略を描こう』

株式会社S・Yワークス
代表取締役

佐藤 芳直

1981年早稲田大学商学部を卒業後、株式会社日本マーケティングセンターに
入社。20代から一躍トップコンサルタントとして第一線で活躍。異例の昇進を
続け、29歳で部長職に。1994年、当時の上場企業最年少役員に就任。船井総研
2人目の上席コンサルタントになる。2006年3月、同社常務取締役を退任。
同年4月に家業である会計事務所を統合し、株式会社S・Yワークスを設立、
代表取締役に就任。「経営の目的は永続にあり」の哲学のもと、「百年企業の
創造」を提唱し、その一貫した佐藤哲学には熱烈な信者が数多く存在する。



■当日のスケジュール

時間	講座	講師
12:30	受付開始	
13:00-13:15	『オープニング』	
13:15-14:35	『amazonに負けない3つの鍵』 ①amazonは、何がすごいのか？ ②amazonの未来戦略とは何か？ ③私たちの生存サバイバル策を考える	株式会社イー・ロジット 代表取締役 角井 亮一氏
14:45-16:05	『デジタルトランスフォーメーションを加速せよ』 ①新時代のイノベーション ②2020年後を考える ③デジタル時代の企業変革	株式会社iOffice 代表取締役 五十棲 剛史氏
16:15-16:30	『経営変革への小さなヒント』	
16:30-18:00	『今こそ、人財化戦略を描こう』 ①現状延長線上に未来はない、恋する未来を描こう ②益々人財の時代～人財が輝く組織を創ろう ③ワクワク、明るく、情熱！新時代のキーワード	株式会社S・Yワークス 代表取締役 佐藤 芳直

■開催概要

開催日程

2019年1月16日(水) 13:00-18:00

■受付開始☞12:30～

参加費用

①会員料金

お1人様:64,800円(税込)

3名様パック:162,000円(税込)

☞お1人様当たり54,000円(税込)

5名様パック:199,800円(税込)

☞お1人様当たり39,960円(税込)

②一般料金

お1人様:75,600円(税込)

3名様パック:194,400円(税込)

5名様パック:270,000円(税込)

※会員とは、佐藤塾、素心塾、S・Yサークル、菓子研、南魚沼佐藤塾、後継者育成学校を指します。
 ※月次支援コンサルティング企業も会員様扱いとなります ※セミナーコード 25825

- ・ご参加をキャンセルされる場合は、2019年1月9日(水)までにご連絡ください。
- 以降のお取り消しは参加料金の50%、1月15日(火)以降のキャンセルの場合は受講料金の100%がキャンセル料となりますのであらかじめご了承ください。
- ・お申込みが最少催行人数に達しない場合には、中止とさせていただきます。
- ・万が一、中止となる場合には、14営業日前2018年12月27日(木)までにご連絡いたします。

【セミナーの内容についてのお問い合わせ】 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 仙台NSビル8階
 株式会社S・Yワークス TEL:022-722-2007
 FAX:022-722-1770 担当:近藤・村山